

入 札 公 告 （設計・コンサルティング業務）

次のとおり一般競争入札に付します。

令和8年2月3日

国立大学法人三重大学 学長 伊藤 正明

1 業務概要等

- (1) 業 務 名 三重大学（観音寺）附属中学校体育館等改修設備設計業務
- (2) 業務概要 附小体育館（S造1, 273㎡）、附中武道場（S造350㎡）、附中体育館（RC造820㎡）の電気、空調、給排水の設備設計業務
- (3) 完了期限 令和8年3月31日
ただし、財政法上の定めによる承認を得た場合は、令和8年6月30日まで延長する予定である。
- (4) 本業務は、競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出並びに入札等を電子入札システムにより行う。なお、電子入札システムにより難しい者は、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。

2 競争参加資格

- (1) 国立大学法人三重大学契約事務取扱細則（以下「取扱細則」という。）第4条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人の場合は、契約締結のために必要な同意を得ていること。
- (2) 文部科学省における「一般競争参加者の資格」（平成13年1月6日文部科学大臣決定）第3章第32条で定める競争参加資格について、令和7・8年度設計・コンサルティング業務のうち「建築設備関係設計・施工管理業務」の認定を受けていること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後に一般競争参加者の資格の再認定を受けていること。）。
また上記認定について、令和4年度以降に設計業務成績評定要領（平成20年1月17日付け19文科施第369号）による評定点（合計）において65点未満の評定を受けていないこと。
- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者（（2）の再認定を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 平成22年度以降に、元請として実施完了した下記に掲げる基準を満たす実績を有すること。（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）
同種業務：次の①～④の要件を満たす実施実績を有すること
 - ① 構造：RC造、SRC造、S造 のいずれか
 - ② 業務種別：新営、増築、改築、改修 のいずれかに係る建築設備実施設計業務
 - ③ 面積：500㎡以上（改修の場合は内装改修の改修延べ床面積が500㎡以上）
 - ④ 用途：校舎、研究施設、病院、体育館 のいずれか

共同企業体にあつては、共同企業体又は構成員のうち一者が上記の実施実績を有すること。

(5) 次に掲げる基準を満たす管理技術者を当該業務に配置できること。

① 建築設備士の資格を有する者

② 平成22年度以降に元請として完成・引渡しが完了した上記(4)に掲げる実績を有する者であること。

③ 配置予定の管理技術者にあつては直接的かつ恒常的な雇用関係が必要であるので、その旨を明示することができる資料を求めることがあり、その明示がなされない場合は入札に参加できないことがある。

(6) 申請書及び資料の提出期限の日から開札の時までの期間に、本学又は文部科学省から「設計・コンサルティング業務の請負契約に係る指名停止等の取扱いについて」(平成18年1月20日付け17文科施第346号文教施設企画部長通知)(以下「指名停止措置要領」という。)に基づく指名停止を受けていないこと。

(7) 本業務に共同企業体として申請書及び資料を提出した場合、その構成員は、単体として申請書及び資料を提出することはできない(事業協同組合についても同様とする)。

(8) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと。(入札説明書参照。)

(9) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、国立大学法人三重大学及び文部科学省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと(入札説明書参照。)

3 入札手続等

(1) 担当部署

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

国立大学法人三重大学 施設部施設企画チーム

電話 059-231-9036

(2) 入札説明書等の交付期間、交付場所及び方法

令和8年2月3日(火)から令和8年2月13日(金)まで

入札公告時の関係資料(様式等)の交付は、三重大学施設部ホームページ

<http://www.mie-u.ac.jp/shisetsu/homon-menu/chiiki-sub/keiyaku-newslist1.html>

からのダウンロード配布のみとする。

(3) 申請書及び資料の提出期間、提出場所及び方法

令和8年2月3日(火)から令和8年2月13日(金)までの土曜日、日曜日及び祝日を除く9時00分から17時00分まで。

上記(1)に同じ

電子入札システムにより提出すること。なお、発注者の承諾を得た場合は持参又は託送(書留郵便等の配達記録が残るものに限る。上記期間内必着。)により提出すること。

(4) 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

入札書は、令和8年2月27日(金)12時00分までに電子入札システムにより提出すること。なお、発注者の承諾を得た場合は上記3(1)に持参するものとする(郵送等による提出は認めない。)

開札日時：令和8年3月2日(月)10時00分

開札場所：国立大学法人三重大学施設部施設企画チーム(電子入札システム)

4 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

① 入札保証金 免除。

② 契約保証金 納付。

ただし、有価証券等の提供又は金融機関等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができ、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除するものとする。なお、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は請負代金の10分の1以上とする。

(3) 入札の無効

入札公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書又は資料に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

(4) 落札者の決定方法

取扱細則第10条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。~~ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不適当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とするところがある。~~

(5) 契約書作成の要否 要。

(6) 関連情報を入手するための照会窓口 上記3(1)に同じ。

(7) 一般競争参加資格を有していない者の参加

上記2(2)に掲げる一般競争参加資格を有していない者も上記3(3)により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時に於いて、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(8) 手続における交渉の有無 無。

(9) 対象業務に直接関係する他の業務の請負契約を、対象業務の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無 無

(10) 詳細は入札説明書による。